

事業活動実績報告書

施設名	青鳩幼稚園
教育理念	・未来を担う子ども達の健全な成長のため、誠実な言動を心掛ける・現状に満足せず良質な教育・保育を探求し、心身ともに子どもの成長を助長し、園生活を豊かなものにする・園に関わる人々が成長でき、子ども達に地域愛を育むと共に、地域から信頼される園を目指す

事業の区分 (5領域)	健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名	運動講師による運動遊び
2 実施期間	令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日

3 取組概要	(取組日) 令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	運動遊びは基本的に園庭にて行う。運動講師の指導の下、運動遊びを通して基本的な体の使い方や、適宜運動用具を使用して様々な動きを経験する。子ども達が運動の楽しさや気持ちよさを感じると共に、友達と一緒にすることでより楽しさを感じ、協同性や自立心、規範意識の芽生え等にも繋げていく。		
	(取組日) 令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月 31日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	
	雨天や猛暑の時は、ホールや保育室を活用して行う。子ども達は、マットや跳び箱、鉄棒といった用具を使用して様々な運動を経験すると共に、サーキット形式を活用することで、待ち時間を縮小し、運動量を増やしていく。体操講師や保育者は、所々で子ども達をサポートしていく。		
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの
	(取組日) 令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日	(実施内容) 当該期間における取組内容を詳細に記載すること	写真添付 (区HPで公開が可能な写真を添付してください) 活動内容が分かるもの 取組に関するもの

効果検証報告書

施設名		青鳩幼稚園
教育理念		・未来を担う子ども達の健全な成長のため、誠実な言動を心掛ける・現状に満足せず良質な教育・保育を探求し、心身ともに子どもの成長を助長し、園生活を豊かなものにする・園に関わる人々が成長でき、子ども達に地域愛を育むと共に、地域から信頼される園を目指す
事業の区分(5領域)		健康 ・ 人間関係 ・ 環境 ・ 言葉 ・ 表現
1 事業名		運動講師による運動遊び
2 事業概要		学年・クラス毎に専任講師と共に、発達に沿った運動遊びを楽しむ。
計画時	3 実施体制	取組に必要な環境(人員、事業の遂行に必要な技能やノウハウ等)の保有状況 運動講師1～2名を中心に、走る・投げる・跳ぶといった動きを経験できるような活動を行う。その際に、子どもの待ち時間が長ならないように、子ども達への説明は簡潔に行うこととする。各クラスの保育者は子どもと一緒に運動をすることで、子どもの意欲を高めると共に、ケガや参加を渋る子どもが出た際には、その幼児のケアを行う。
	事業後 3についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 ほとんどの子ども達が活動に対して、前向きに参加することができていた。一方、特別な配慮が必要な子どもが複数いるクラスでは、担任保育者がそちらへ手が取られる場面が多くなってしまった。
計画時	4 事業のねらい	・楽しく元気に体を動かし、運動の楽しさを知る。 ・発達に沿った様々な運動をバランスよく経験する。 ・自分の身を守る能力を養う(ケガや危険から回避する能力の向上)。 ・みんなで運動する時間・空間・仲間のよさを感じる。 ・自ら体を十分に動かそうとする意欲や進んで運動しようとする態度を育てる。 ・自分の体を十分に動かし、子ども自身が体を動かす気持ちよさを感じると共に、体を動かそうとする意欲などを育む。
	事業後 4についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 自由遊びの時間には、園庭で遊ぶ子ども達が増えた。例えば、年度の後半には年長児では子どもだけでチームや役割を分担してルールを守ってドッジボールやリレーを楽しむといった姿が見られた。
計画時	5 取組の内容	計画スケジュールを含む詳細な取組内容、経験させたい内容等 運動遊びを通して、基本的な体の使い方を覚える。運動用具を使用して様々な運動を経験する。プール遊びを通して、水に親しむと共に、水遊びの楽しさや、一方で危険なことがあることを知る。また、運動遊びの中で、集団遊びや用具を活用したサーキット形式の運動を行うことで、更に色々な動きを経験する。
	事業後 5についての効果・検証	事業実績から推測される効果や改善点等 サーキット運動として行うことで、クラス全体で跳ぶ、くぐる、バランスを取るなど、多様な動きをみんなで経験することができた。一方で、各コーナーが詰まってしまうことがあり、待ち時間ができてしまうこともしばしばあった。

計画時

<p>6 環境構成</p>	<p>基本的に園庭にて行うこととする。雨天や猛暑の時は、ホールや保育室を活用して行う。体操講師が前に立ち、挨拶・準備運動から始める。各学年や時期に応じて活動内容は変わるが、例えば、年度前半の年長学年の場合、個人運動として講師の動きを真似したり、色々な音や手拍子を聞いて動くなどする。その他、マットや跳び箱、鉄棒といった用具を使用して様々な運動を経験すると共に、サーキット形式を活用することで、子どもの待ち時間を縮小し、運動量を増やしていく。</p> <p>担任などの保育者は、基本的に子ども達と一緒に運動遊びを行うが、ケガや活動に入れない子ども達のケアを行う。気分が乗らない子ども達を無理矢理、運動に参加させることは逆効果になりかねないため、様子を見たり、前向きな言葉かけをすることで、子どもが自ら「運動してみようかな」と意欲が沸くように働きかけていく。</p>
---------------	---

事業後

<p>6についての効果・検証</p>	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <p>子ども達はそれぞれのペースで、運動講師や友達と一緒に楽しく運動する姿が見られた。サーキットが滞らない工夫として、運動する箇所を増やし、好きな所や空いている所からスタートすることで子どもが分散できるのではないか。また、「できないからやりたくない」など、苦手なことに消極的な子ども達に対し、有効な対応の検討が必要と考える。</p>
--------------------	--

<p>7 期待される効果 児童の姿</p>	<p>取組を通じて期待される児童の姿や効果等</p> <hr/> <p>基本的に子ども達は遊びの中で運動能力を高めていくが、運動講師が意図を持って、今の子ども達に必要な運動の機会を作ることによって、より子どもの運動遊びの幅が広がるのではないかと。例えば、講師による運動指導の際に、ドッジボールの基本的なことを教わった子ども達は、その後の時間にやりたい子ども達が集まり、ドッジボールをして遊ぶ姿が見られる。つまり、運動指導の時間をきっかけにして、子どもの育ちの伸びしろが大きくなることが期待される。</p>
---------------------------	--

事業後

<p>7についての効果・検証</p>	<p>事業実績から推測される効果や改善点等</p> <hr/> <p>運動講師による運動遊びの時間をきっかけにして、その後の自由遊びの時間にも、ドッジボールやリレーといった運動遊びをする子ども達の姿が見られた。運動遊びの時間だけでなく、その他の時間でも色々な運動遊びをすることで、子ども達の運動に対する意欲が高まり、楽しそうに体を動かしていた。</p>
--------------------	--

<p>8 効果検証 総括</p>	<p>事業を通しての感想、今後の教育・保育に向けて</p> <hr/> <p>運動講師による運動遊びの時間は、運動へのきっかけ作りの機会だと考えている。大切なことは、その後の時間に、子ども達が自発的に運動遊びを楽しむ姿に繋がっているかどうかである。そのため、運動講師による運動遊びの時間は、子どもが話を聞く時間等をできるだけ少なくし、体を動かす楽しさや気持ちよさを感じられる時間を増やしたい。そのためにも、サーキット運動はじめ、色々な工夫を考え、実践していきたい。</p> <p>今年度は年長児を中心に、日々の自由遊びの時間にも、ドッジボールやリレー、鬼遊び等、子ども達が自発的に遊びを展開する姿が見られた。さらに年長児と年中児と一緒にドッジボールを楽しむなど、異年齢の関わりの姿にも繋がっている。今年度を振り返り、次年度も子ども達が自発的に運動を楽しめるように計画したい。</p>
----------------------	---